

大会日程

第74回 滋賀県中学校夏季総合体育大会 バレーボール競技

7月26日（月）

会場 《男子》 守山市民体育館（2面）
《女子》 長浜伊香ツインアリーナ（4面）

役員集合 8：00

開館 第1, 2試合 8：30、第3試合以降 13：00（開館後フリー）
※開館10分前から2階観客席への入場可能

合同練習 第2試合のチーム 8：40、第4試合のチーム 13：10

第1試合のチーム 8：50、第3試合のチーム 13：20

プロトコール 第1試合 9：00、第3試合 13：30

競技開始 第1試合 9：11、第3試合 13：41

7月27日（火）

会場 長浜伊香ツインアリーナ（男女）

役員集合 8：00

開館 8：30（開館後フリー） ※8：20から2階観客席への入場可能

合同練習 8：50 第1試合のチーム

※第3試合のチームはネット調整後10分間の合同練習

プロトコール 9：00

競技開始 9：11

男子準決勝

- ・女子準決勝が早く終了したコートからネット調整を行う。ネット調整中は、パス程度の練習のみバックゾーンの使用を認める。ネット調整終了後、10分間の合同練習とする。

女子決勝

- ・男子準決勝が早く終了したコートのネット調整を行う。ネット調整中は、パス程度の練習のみバックゾーンの使用を認める。ネット調整終了後、5分間の合同練習とする。

競 技 上 の 注 意 事 項

1. 本大会は、2021年度（公財）日本バレーボール協会6人制競技規則に準じて行う。なお、ネットの高さは、男子2m30cm・女子2m15cmとする。使用球は、検定4号球男子モルテンV4M5000、女子ミカサV400Wとする。
2. 競技方法は、単純トーナメント方式とする。試合は、3セットマッチ（ただし、3セット目は15点）とし、3位決定戦は行わない。
3. 開始式および閉会式は行わない。無観客試合とする。
4. 参加申込書に記載した監督・コーチ・マネージャー・選手の変更は認められない。ただし、申込書の選手18名の中から12名を試合毎にエントリーするものとする。原則として競技者番号の変更は認めない。ただし、ユニフォームが欠番している時、当事者のみ番号変更は認める。登録は構成メンバー票の提出で代替することとする。
5. 公式練習時間は、合同で6分間とし、申し出のあった場合は各チーム3分間とする。また、試合前に5分間の合同練習を認める。公式練習に際しても、有効な構成員16名（部長・監督・コーチ・マネージャー・選手12名）以外の者がフロアおよびコートに入ることを禁止する。ただし、合同練習では安全確保のため有効な構成員以外の者がフロアおよびコートに入り練習を補助することを認める。
6. 試合が連続する場合は、10分以内の休憩をとる。その間はパス程度の練習を認める。（合同練習は、この時間に含まれない。）
7. セット間・タイムアウト中に、次試合のチームはコート内およびフリーゾーンで練習を行わない。
8. 審判員・生徒役員の分担は、大会役員の指示に従うこと。第1日目の午前および午後の1試合目の審判については、それぞれ2試合目のチームが行うものとする。2試合目以降については、前試合の敗者チームが行うものとする。
2日目の第1試合の審判については、第3試合のチームが行うものとする。
9. 今大会はWTOを適用する。
10. セット間、タイムアウト、WTOにのみ、ウォームアップエリアやベンチ周辺において、団扇の使用を認める。団扇の大きさに規定はないが、極端に大きなものは使用しない。装飾としての使用は認めない。
11. 大会参加者は、言動等についてふさわしいマナーを守ること。
12. 監督、コーチ、マネージャーの短パン・ハーフパンツ・ランニングシャツ・Tシャツでのベンチ入りは禁止とし、統一された服装が望ましい。2日目においては、統一された服装とする。ただし、マネージャーが生徒の場合は除く。また、鳴り物・メガホン等不要物のベンチへの持ち込みを禁止する。
13. 選手のソックスはくるぶしの隠れるものを着用すること。
14. 本大会の1・2位チームは、第70回近畿中学校総合体育大会に推薦する。

審判上の確認事項

1. 本大会は、2021年度（公財）日本バレーボール協会6人制競技規則に準じて行う。なお、ネットの高さは、男子2m30cm、女子2m15cmとする。
2. 監督はプロトコール前、キャプテンはトスの前に、記録用紙にサインを済ませる。
3. ウォーム・アップ・ゾーンを設ける。但し、ゾーン内でのボールの使用は禁止する。
4. セット間はフリーゾーンでボールを使用してもよいが、隣のコート邪魔にならないように、パス程度のものとする。
5. 役員、相手チームのプレイヤーはもちろん、自チームのプレイヤーに対しても粗暴な行為や人格を損なうような言動は、慎まなければならない。
6. スポーツマンとしてふさわしくない行為はしないこと。（相手チームに向かってのガッツポーズ等）
7. 試合中、ボールの交換を要求する場合、選手が主審または副審に申し出ること。
8. ワンボールシステムで試合を行うので、デッドになったボールの処理は速やかに行うこと。
9. タイムアウトは、ベンチから立ち上がってコールしながらハンドシグナルを明確に示して要求すること。
10. モップでのワイピングについてはタイムアウト中、セット間に自チームで行うこと。ただし、主審・副審が危険であると判断した場合はモップを入れてワイピングする。
11. ワイピングは、コート内の選手が、自分の持っているハンドタオル等を用いて速やかに行うこと。また、12名の構成メンバーの中から1名のクイックモッパーを置くことができる。
12. 構成メンバーは最大12名でリベロプレイヤーを含む。チームは、最大2名までのリベロプレイヤーを試合毎に登録できる。
13. 主審は教職員が行う。ただし、外部コーチが有資格者の場合は、主審をすることができる。
14. 副審は、教職員および外部コーチで行う。
15. ホイッスルはマスクの下で吹笛を行う。また電子ホイッスルの使用を可とする。
16. 準決勝、決勝はパドルを使用する。

プロトコール（試合開始前・セット間及び試合終了後の手順）

《試合開始前》

試合前	チ ャ ム	主審・副審
	両審判のネット等のチェック時は、ネットを使用せずウォームアップをすることができる。	両審判は、ネットの高さ・張り具合・アンテナの位置やサイド・バンドの位置をチェックする。（スケールは副審が持つ。）
11分前	チーム・キャプテンは、トスのため記録席に行く。トスに先立ち、記録用紙にサインを行う。	主審は、副審を立ち合わせて記録席前でトスを行う。副審は、チーム・キャプテン、監督を記録席に導き、記録用紙にサインをさせる。
9分前	両チームが一緒か、または個別に公式ウォームアップを開始する。 ウォームアップはユニフォームで行う。 公式練習はエントリーメンバー以外は参加できない。	主審は、公式ウォームアップ開始を合図する。ボール、スコア・シート、ブザー、ユニフォームなどのゲームに必要な用具をチェックする。ライン・ジャッジと打ち合わせをする。副審は、公式ウォームアップの計時をする。
3分前	主審の合図で、公式ウォームアップを終了する。	主審は、公式ウォームアップ終了の合図をする。
2分前	主審の合図で、エンドライン上で礼をする。 それぞれのチームはベンチに戻る。	審判役員はそれぞれの定位置につく。
1分前	主審の合図で、スターティング・プレイヤーは、コートに入る。	主審は、合図してプレイヤーをコート内に導き、副審、記録員はそれぞれライン・アップを照合する。（このときリベロはコートに入らない）そして、副審はボールを最初のサーバーに送る。
0分前		主審は、第1サービスへの吹笛を行う。

《セット間》

	セット終了後、コート上のプレイヤーはエンド・ライン上に整列する。主審の合図で向かって右側のサイド・ラインにそって進み、支柱の外側を通過したら直接それぞれのベンチに入る。	主審は、チームがエンド・ラインに整列したら、コートを交替するよう吹笛とシグナルで合図する。
2分 30秒後	副審の合図により、エンド・ライン上に並ぶことなく、ベンチより直接コートに入る。	副審は、記録員合図を受けて両チームにコートに入るよう合図する。直ちに、副審・記録員はライン・アップを照合する。

《試合終了後》

速やかに	主審の合図で、すべてのプレイヤーはエンド・ライン上に整列する。 主審の合図で、エンドライン上で礼をする。そして、記録用紙にサインをする。 チームは直ちにベンチから去る。	両チームのチーム・キャプテンを伴って記録席に行き記録用紙への記入を完了させる。
------	--	---